令和7年度第2回 国立大学法人奈良国立大学機構経営協議会記録

日 時 令和7年6月20日（金）15時30分～16時59分
場 所 奈良国立大学機構第一会議室
出席者 榎理事長、宮下大学総括理事、高田大学総括理事、榎本理事、西村理事、
國枝委員、松本委員、近藤委員、村岡委員、北岡委員、鈴木委員
列席者 中山副理事、青山監事、大久保監事、沓澤事務局次長
(機構事務部)
向総務課長、寺本企画課長、川村人事課長、樋口財務課長、奥施設課長
(奈良教育大学事務部)
矢倉総務課長、河上企画調整課長
議 長 榎理事長

議事に先立ち、令和6年度第7回経営協議会（令和7年3月18日）、令和7年度第1回経営協議会（令和7年6月9日メール審議）記録を確認

審議事項

1. 令和6年度決算について

榎本理事から、資料1に基づき、令和6年度決算について説明があった。審議の結果、原案のとおり承認し、役員会へ付議することとした。

2. 目的積立金の執行計画について

榎本理事から、資料2に基づき、目的積立金の執行計画について説明があった。審議の結果、原案のとおり承認し、役員会へ付議することとした。

3. 令和8年度概算要求事項（案）について

榎本理事から、資料3に基づき、教育研究組織改革分及び基盤的設備等整備分に係る令和8年度概算要求事項及び令和8年度施設整備費補助金概算要求事業について説明があった。審議の結果、原案のとおり承認し、役員会へ付議することとした。

4. 諸規程の改正等について

榎本理事から、資料4-1～4-2に基づき、諸規程の改正等について説明があった。審議の結果、原案のとおり承認し、役員会へ付議することとした。

5. 役員の令和7年6月期に支給する勤勉手当の勤務成績評価について

榎本理事から、資料5に基づき、役員の令和7年6月期に支給する勤勉手当の勤務成績評価について説明があった。審議の結果、役員全員を「勤務成績が良好な役員」として承認した。

6. その他

特になし

報告事項

1. 両大学の現状と課題について

榎理事長、宮下理事及び高田理事から、資料6に基づき、機構及び両大学の現状と課題について報告があった。

國枝委員から、来年度に設置される工学系の修士課程については、さらにその先で設

置予定の博士課程において、どのような専門性を深めるのか等の見通しを含め、明確なビジョンを持って柱となる専門分野を立てておく必要があるとの意見があった。

松本委員から、両大学の連携は進んできたが、奈良先端科学技術大学院大学や奈良県立医科大学など近隣の他機関との間でクロスアポイントメントを含めた連携の仕組みを作ればさらに地域の多様な要求に応えることが可能となり、現状、榊理事長を中心としてそういった連携を形成しやすい環境にあると考えている、との意見があった。

近藤委員から、一般的に教員不足や理工系女性人材が求められる現状の社会において両大学による人材輩出には非常に期待されている中、機構が中心となっているなら産地学官連携プラットフォームの取組を進め、地域で連携して人材育成を行う仕組みをつくり、奈良県に産業を呼び込めるところまで繋げることにより、どのように地域に貢献できるかを機構が率先して明確に発信してほしいとの意見があった。

村岡委員から、中長期の視点として、近隣に大学以外の研究機関が複数ある中、地域において両大学が今後どういった役割を担っていくか少しずつ焦点を絞っていく必要があること、並びに学生の国際化という点において世界で戦える人材育成に取り組むことを両大学に期待したいとの意見があり、中山副理事長から、奈良女子大学においては、学生が在学時に身に付ける語学力や語学を運用できる力については学生自身及び学生の就職先等からのアンケートにおいて評価が低いとの分析結果があり、学生の国際化は課題であると認識しているとの説明があった。

北岡委員から、法人統合による組織の効率化は徐々に進むが、一番期待されるのはお互いが有していない価値を持ち寄ることで統合の相乗効果をいかに出していくかという点であり、例えば奈良女子大学で進める生体センシングの研究を新しいツールとして応用して奈良教育大学での教育分野の研究に活かすといったようなアイデアを考え、形にしていく事例を積み上げていくことが重要ではないか、との意見があった。

鈴木委員から、学生が社会に出て自身の持つ能力を最大限に発揮するために、卒業生がどのような分野で活躍しているのか、現場で何に苦しんでいるのか、どのような社会の壁に直面しているのかといった点を把握する必要があるとして、両学長には卒業生の状況を丁寧に見てほしいこと、並びに奈良女子大学が説明する生活環境学部の「生活者目線」が女性目線とイコールであるとすれば違和感を覚える、むしろ女性があまり進出していない分野に人材を輩出して活躍させてほしいとの意見があった。

2. 附属学校園の将来像に関わる提言等について

榎本理事から、資料7により報告があった。

3. クラウドファンディングについて

榎本理事から、資料8により報告があった。

4. その他

(1) 令和7年度会議開催日程について

榎本理事から、資料9により報告があった。

次回は、9月4日（木）13：00～13：40に開催することとして散会。

以上